

京都市障害者就労支援推進会議通信
第12号令和2年11月
京都市保健福祉局障害保健福祉推進室

3 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業

「障害者職域開発推進部会」の有識者等からの意見を踏まえ、以下の事業者を補助事業者に指定し、障害者雇用拡大の取組を支援しました。

補助事業者名	事業実績概要
有限会社 松川調整所	着物の染色補正の技術継承の担い手の確保(精神に障害のある方1名を採用)

4 障害者職場定着支援等推進センター事業

- (1) 相談・支援件数：14,136件
- (2) 就職後1年経過時点の定着率：85.3%
- (3) 交流サロン参加人数：延べ399人

5 伝福連携担い手育成支援事業

補助事業者名	事業実績概要
京鹿の子紋 振興協同組合	京鹿の子紋「くくり」の技術継承(組合員企業で1名を雇用)
西陣整経同業組合	西陣織「糸繰り」の工程保存(令和2年度以降に1施設に委託予定)
株式会社種田	京くみひもの技術継承(実習に向けたくみひも練習を16回実施)※
平井水引工藝	水引工藝の技術継承(実習に向けたプラットフォーム会議を4回実施)※

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実習等は未実施

6 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

- (1) 年間売上金額…23,415千円(前年度比2.2倍)
- (2) 出店販売の風景



京都マルイ

ドリームナイト・アット・ザ・ズー

京まふ

(3) 新商品開発



豆腐Tシャツ(デザイン開発)

レインポーメロ

クラッチバッグ(開発中)

ストール(デザイン開発)

7 京都市障害者就労支援推進会議ウェブサイト「はたらきまひょ」

障害者就労支援プロモート事業における各セミナー・見学会等の開催情報や、障害者就労支援事業所等の情報を提供しています。URL: <http://www.hatarakimahyo.jp/>



QRコードからも閲覧できます。

京都市障害者就労支援推進会議通信 第12号 令和2年11月発行
事務局：京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室
〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町394番地Y・J・Kビル3階
TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

京都市印刷物第024471号

～京都市障害者就労支援推進会議通信～

本市では、国、京都府の関係行政から民間まで、企業、労働、福祉、教育等の各分野の関係機関及び団体等と連携して、障害のある方が生きがいを持って働くことができるよう、それぞれのライフステージに応じて、切れ目なく支援するための協働機構「京都市障害者就労支援推進会議」(平成21年8月設立)を中心に、「一般就労の促進」「定着支援の充実」「福祉的就労の底上げ」に係る施策を推進しています。

※「第5期京都市障害福祉計画」(平成30年3月策定)における成果目標

【福祉施設から一般就労への移行】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
移行者数	147人	162人	232人	276人	286人	令和2年度末時点で243人以上

【就労定着支援による支援開始から1年後の職場定着率】

年度	R1	目標値
定着率	92.2%	80%以上

令和2年度 主な取組と予算



1 京都らしい農福連携推進事業【新規】

2,500千円

障害者福祉施設が新京野菜等の選別作業等に加え、生産・加工・販売等に携われるよう、農家等とのマッチング等に取り組み、販路開拓や地域の活性化、障害者福祉施設の工賃向上を図る農福連携を推進します。

産業観光局が実施する農福連携による新京野菜普及促進事業と連携し、効果的・効率的な事業運営を図っていきます。



新京野菜「京の真真珠」

選別業務体験会



2 障害者就労支援プロモート事業

12,208千円

2名の「障害者就労支援プロモーター」を配置し、障害者就労支援事業所職員の支援スキル及び障害のある方の就労スキルを高める研修や、企業における職域拡大、雇用後の定着支援などを推進する見学会やセミナー等を実施しています。



障害者就労支援スキルアップ研修会
「企業で模擬面接を体験しよう！」

府市障害者雇用企業セミナー
「障害のある方の“おもてなし力”を育てるキャリアステップ」

障害者就労支援スキルアップ研修会
「就職支援ワークショップ」

3 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業 2,276千円

将来の企業就職に向けたステップアップとするため、就労支援事業所等と連携し、一般就労を希望する障害のある方を対象に、京都市役所の職場において、職場実習（約2週間）やチャレンジ雇用（会計年度任用職員としての雇用1～2箇月）を実施しています。

実習及び雇用の期間中は、実習コーディネーター（ジョブコーチ等）が業務の切り出しや実習評価を行います。

【職場実習】24名（予定）8月以降、順次実施

【チャレンジ雇用】2名（予定）※実習経験者の中から選考



塗り絵コンテストの展示準備をする様子



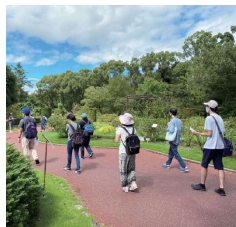
保育所内の清掃作業を行う様子

4 障害者職場定着支援等推進センター事業 22,143千円

障害のある方の長期就労を支援することを目的に、「京都市障害者職場定着支援等推進センター」（北山ふれあいセンター内）及び本センターの南部分室（京都テルサ内）を設置し、両センターに配置している専門職員が、就労に関する相談、企業訪問等による状況把握、仲間づくり支援（交流サロン）などを行い、障害のある方の自立と社会参加を推進しています。



交流サロン「ぼろぼろ」

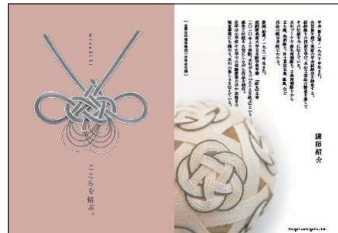


おでかけサロン～植物園でソーシャルディスタンスを体験しよう～

5 伝福連携担い手育成支援事業 1,276千円

伝統産業分野における障害のある方の職域を拡大し、就労支援・雇用創出を図ることで、技術継承や後継者確保を目指すため、障害のある方の雇用又は市内の障害者就労支援事業所への業務の発注に意欲がある伝統産業事業者に対して、障害者就労支援アドバイザーの派遣や障害のある方を雇用する際に必要な備品購入等に要する費用の補助を行っています。

この他、伝統産業製品の製作工程において、障害者就労に取り組む障害福祉サービス事業所の整備に対し、「伝福連携推進等事業所整備助成」(218,000千円)を行います。



水引工芸体験講師紹介リーフレット



京くみひものプレ体験会



京鹿の子絞の日傘づくり体験会



西陣織の「糸繰り」工程体験会

6 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業 22,093千円

工賃水準の向上をはじめとする福祉的就労の底上げを図るため、平成23年10月、市内施設のほとはあと製品を取り扱うアンテナショップ「はあと・フレンズ・ストア」を開設し、製品開発、生産・販売の新しいモデル事業づくりや販路拡大に取り組んでいます。この取組を通じて、障害のある方の自立と社会参加を促進するとともに、企業や市民に対する障害者福祉への理解促進や将来の雇用機会の創出を図ります。



四条河原町花遊小路商店街内

【営業時間】11:00～18:30
【定休日】毎週水曜日、年末年始
【TEL】075-221-8033



ほとはあと製品の一例



ストアHP
QRコード

令和元年度 主な取組の実績

1 障害者就労支援プロモート事業

(1) 京都市障害者就労支援推進会議の開催内容

開催日 R1.11.1	報告事項	京都市障害者就労支援推進会議 部会等の取組状況について 京都市障害福祉計画における福祉施設から一般就労への移行について 京都市障害者就労支援推進事業について
	協議事項	京都市地域企業における障害のある方の多様な活躍先について

【部会】

精神障害者就労支援システム検討部会	精神障害者就労支援システムの検討	1回開催
発達障害者支援連携協議会・就労支援連絡部会	発達障害者の就労支援について	※
巣立ちのネットワーク	総合支援学校生徒の就労職場開拓の検討及び情報交換等 第26回雇用フォーラムの開催	3回開催 R1.11.6
デュアルシステム推進ネットワーク会議	長期企業実習や職業教育のあり方の検討	2回開催
障害者職域開発推進部会	アドバイザー派遣等支援事業のヒアリング	1回開催
はあと・フレンズ・プロジェクト推進部会	事業の進捗状況及び計画等	1回開催

※「個別支援ファイル」の活用に向けアンケート調査を実施

(2) 障害者就労支援スキルアップ研修、企業見学会及びセミナーの開催

名称	対象	開催回数	参加者数
障害者就労支援スキルアップ研修	障害福祉施設の利用者及び支援員	10回	延べ209人
企業見学会・セミナー	企業の人事担当者等	3回	延べ68人

2 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

(1) 職場実習の実施状況

知的障害(18名)、精神障害(9名)のある方27名が市役所の職場で、それぞれ約2週間の職場実習を行い、7名の方が一般就労されました(令和2年7月末現在)。

(2) チャレンジ雇用の実施状況

上記の実習を受けた方の中から3名を京都市の臨時的任用職員として採用しました。

実施職場：行財政局人事部人事課、文化市民局共生社会推進室、西京区役所地域力推進室